

12/2 いなみ冬景色2017  
光・キャンドルのウィンターナイト

12月2日(土)、稲美町商工会青年部・稲美町商工会主催による“いなみ冬景色2017 光・キャンドルのウィンターナイト”がいなみ文化の森で開催されました。4回目となる今回は、町内の小学生が来年の目標をイラストで描いた展示コーナーや、京都瓜生山舞子連中による「八岐大蛇」の神楽演舞、模擬店が並ぶいなみグルメ横丁、お楽しみ抽選会などが催され、大勢の人で賑わいました。夜6時頃、カウントダウンに合わせて、高さ10mのツリーや約3万7千個のLED電球を使ったイルミネーションが点灯すると、会場からは大きな歓声が上がりました。当日は、イルミネーションのほかにキャンドル2千個が灯され、訪れた人々は思い思いに写真撮影をするなどして、暖かなキャンドルの明かりとキラキラしたイルミネーションを楽しんでいました。イルミネーションの点灯は12月25日まで実施され、文化の森を華やかに彩りました。



▲ 当たるかな!? おたのしみ抽選会



▲ キャンドルが並べられたツリーが登場

12/3 第8回楽しいふれあい収穫祭  
(1万本大根祭り)が開催されました

12月3日(日)、第8回楽しいふれあい収穫祭がいなみ野水辺の里公園付近の畑で開催されました。当日は好天に恵まれ、お子さんが自分の身長ほどの大根を引き抜くなど、自然とのふれあいを楽しんでいました。また、会場では天満東幼稚園の園児らによる樽太鼓などが披露され、寒空に子どもたちの元気な声と演奏が響き、会場はあたたかい空気に包まれていました。



▲ たくさんの人で賑わう会場



▲ 力いっぱい引き抜いたよ!

12/4 100歳 おめでとうございます



▲ 北谷テルさん

12月4日(月)、100歳を迎えられた北谷テルさん(下沢)を町長が訪問し、ご長寿をお祝いしました。入所中の施設のお祝い会で、町長が祝い品を手渡すと、北谷さんは満面の笑みで受け取られ、「どうもありがとうございます」と大きな声でお礼を述べられました。入所者や施設職員からは、誕生日の歌や祝福の言葉が贈られ、北谷さんに楠玉を割ってもらうなど、趣向を凝らしたお祝い会でした。うなぎや刺身が好物という北谷さん。若いときから音楽に親しみ、歌うことや人と接することが大好きで、商売でよく働いてきたことが長寿の秘訣のようです。12月4日現在、町内の100歳以上の人は14人となりました。

11/19 流通科学大学との連携事業を実施

稲美町では、大学と連携して「観光まちづくり」事業を実施しています。11月19日(日)に、流通科学大学と小山農園による「稲美町収穫祭」と、兵庫南農業協同組合による「にじいろふぁ～みん2周年感謝祭」へブースの出展を行いました。「稲美町収穫祭」では、町内・町外から14組の家族連れが参加し、小山農園でブロッコリーやカリフラワー、大根などの野菜の収穫体験を行いました。慣れない畑での作業に最初は戸惑いがちでしたが、自分の手で収穫した野菜に子どもたちも大喜びでした。午後からのにじいろふぁ～みんの2周年記念行事「にじいろふぁ～みん2周年感謝祭」には、学生によるピンゴ大会や工作教室、新米で作ったおにぎりなどのブースを出展。特に、かまどで炊いた新米のおにぎりは大人気で、参加者は笑顔で炊きたての新米の味を楽しんでいました。



▲ 冬野菜をたくさん収穫



▲ 炊きたての新米の味に舌鼓



▲ バスの運転手さんからお話を聴く児童

11/22 加古小学校の2年生が  
バスに乗って社会科見学

11月22日(水)に、加古小学校の2年生が社会科見学として、路線バスに乗って神姫バス株式会社の加古川営業所へ行きました。加古川営業所では、バスの乗り方や乗車中のマナーを学び、普段は見ることのできないバス用の巨大な洗車機も見学させてもらいました。質問タイムには「バスは何時まで走っているの?」「1人用と2人用の座席があるのはどうして?」など様々な質問が飛び出し、児童たちは興味津々の様子でした。

この授業は「公共交通を守る」授業の一環として行われており、町では、このような路線バスを用いた小学校などの授業に対して、交通費の一部を補助しています。路線バスの裏側を見学し、バスをより身近に感じてもらうことで、バスを利用する人を増やし、将来にわたって公共交通を守ることを目指しています。一人ひとりがバスを利用することで、公共交通を守っていきましょう。

11/25 稲美町協働まちづくり100人会議を開催しました

11月25日(土)、「稲美町協働まちづくり100人会議」を総合福祉会館で開催しました。当日は、兵庫大学副学長の田端和彦氏から「今後のまちづくりについて」をテーマに、現在見直しを行っている「第5次稲美町総合計画」について講演をいただきました。講演では、前期基本計画策定時から今までの社会の変化や、稲美町の長所と短所を確認し、総合計画における住民と行政のそれぞれが果たすべき役割について説明がありました。質疑応答では、「稲美町の総合計画の特徴」や、「住民協働のあり方について」などの活発な質問が出ていました。



▲ 講演に耳を傾ける参加者